関 市 議 会

令和6年第2回定例会

(令和6年6月13日・14日・17日・18日)

代 表 質 問 順 序 表

順序	議席	氏 名	会 派 名	
1	11	長尾 一郎	新政 クラブ	13日午前～

一 般 質 問 順 序 表

2	22	石原 教雅		13日午後～
3	2	安達 克也	清流 クラブ	13日
4	6	長瀬 敦久	新政 クラブ	13日
5	14	足立 将裕	市議会公明党	14日10:00～
6	13	栗山 守	若草 クラブ	14日
7	21	猿渡 直樹	日本共産党関市議員団	14日午後～
8	4	岩出 和也	新政 クラブ	14日
9	12	土屋 雅義	若草 クラブ	14日
10	16	市川 隆也	市議会公明党	17日10:00～
11	20	小森 敬直	日本共産党関市議員団	17日
12	3	村井 芙美加	新政 クラブ	17日午後～
13	5	北村 隆幸	新政 クラブ	17日
14	1	川合 治義		17日
15	18	渡辺 英人	新政 クラブ	18日10:00～
16	9	林 裕之	新政 クラブ	18日

代 表 質 問

新 政 ク ラ ブ

議席 1 1 番 長 尾 一 郎

- 1 今後の過疎対策について
 - (1) 過疎地域持続的発展計画の進捗と成果は
 - (2) 過疎地域の担い手は
 - (3) ライフラインの維持は

- 2 旧町村の公共交通について
 - (1) 現在の状況は
 - (2) 運転手確保の状況は
 - (3) 今後の展望は

- 3 「こどもまんなか社会」の実現に向けた本市の取組について
 - (1) 関市こども計画の策定についての考えは
 - (2) こども・若者の意見を施策へ反映する取組は
 - (3) 関市こども家庭センターの状況は

- 4 観光振興プランニング・ディレクターの実績について
 - (1) 4年間の年次計画とK P I（重要業績評価指標）は
 - (2) 昨年度の実績は
 - (3) 観光推進のための今年度の方針は

- 5 防災基本条例制定により、強化する防災対策について
 - (1) 自助に求める防災対策とは
 - (2) 共助に求める防災対策とは

一 般 質 問

議席 22番 石 原 教 雅

- 1 上水道事業を取り巻く課題について
 - (1) 全国的に水道クライシスとして取り上げられることの受け止めは
 - (2) 本市の上水道事業の実情と今後の展望について
 - (3) 水道インフラを社会インフラとして整備を図るべきではないか

- 2 関市立地適正化計画と都市計画道路について
 - (1) 関市立地適正化計画策定後の変化は
 - (2) 関市都市計画道路の見直しの状況は
 - (3) 関市都市計画道路の重要性と早急な事業着手の必要性について

- 3 関市立富岡保育園園舎新築工事誤施工について
 - (1) 工事報告書について
 - (2) 誤施工の適正な処理と責任について
 - (3) 監理受託業者の選定について

一 般 質 問

議席2番 安達克也

- 1 「清流の国ぎふ」文化祭2024・全国高等学校総合文化祭について
 - (1) これまでの具体的な取組は
 - (2) 今後のスケジュールは
 - (3) 市民との関わりは
 - (4) 市民の盛り上げを高める方策は

- 2 市内の伝統芸能について
 - (1) 春日神社の能舞台の改修の進捗状況は
 - (2) 「能・狂言」公演の概要は
 - (3) 市内の伝統芸能の維持・振興策は
 - (4) 能装束の保管管理の方法は

- 3 小中学校のアウトリーチ事業について
 - (1) 昨年度の実績と効果は
 - (2) 今年度の実施予定は
 - (3) 能や狂言など日本の伝統芸能のアーティストによるアウトリーチ事業を行っては

- 4 せきファンクラブ事業について
 - (1) 事業の概要とねらいは
 - (2) 今年度の具体的な取組は
 - (3) 取組によって期待される効果は
 - (4) 情報発信や周知の方法は

一 般 質 問

議席6番 長瀬 敦久

- 1 関市学校規模適正化計画（案）について
 - (1) 学校の適正規模についての考えは
 - (2) 学校規模適正化と「個別最適な学び」との関わりは
 - (3) 小規模校の課題克服に向けた取組は
 - (4) 小規模特認校制実施について
 - ア 実施の条件は
 - イ 小規模特認校を希望する児童・生徒への、スクールバスの活用は
 - (5) 義務教育学校3校の設置時期は
 - (6) 学校規模適正化計画の策定までの今後のスケジュールは

一 般 質 問

議席14番 足立将裕

1 市民に寄り添った施策について

- (1) 災害時における聴覚障がい者への情報伝達は
- (2) 外国人などに対する「やさしい日本語」の取組は
- (3) 視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進は
- (4) 市役所窓口で軟骨伝導イヤホンの試験的導入は
- (5) 生活保護世帯の見守り体制は

2 市民の健康づくりについて

- (1) 健康づくりにおいて推進している事業は
- (2) せき＊しあわせヘルスマイレージ事業が今年度で終了する理由は
- (3) ウォーキングコースの管理は適切か
- (4) 健康ポイントアプリの導入は
- (5) せき p a y ・せきチケの活用は

3 長期金利上昇による公金管理について

- (1) 市債・財政への影響は
- (2) 現在までの資金運用方法と実績は
- (3) 財務活動管理方針の策定は
- (4) 運用方法の見直しは

一 般 質 問

議席 1 3 番 栗 山 守

1 関市学校規模適正化計画（案）隣接区域選択制について

- (1) 導入する意図は
- (2) 児童生徒のみで安全に通学できるとは
- (3) 隣接区域からの受入可能人数の決め方は
- (4) 希望者多数の場合の対応は
- (5) 各校に選択できる学校名または地域を市民に提示を
- (6) 現在の区域外就学児童生徒数の状況は
- (7) 今後の区域外就学の取扱いは
- (8) 隣接区域選択制を導入することで児童生徒と地域との関係の希薄化を助長し、今後の自治会活動に支障が出ないか
- (9) 導入決定の最終判断の条件は

2 特殊詐欺被害防止対策について

- (1) 市内での特殊詐欺発生状況は
- (2) 特殊詐欺被害を未然に防ぐ効果がある防犯機能付き電話機あるいは特殊詐欺対策装置購入費補助金の新設は

一 般 質 問

議席 2 1 番 猿 渡 直 樹

- 1 奨学金制度の改善について
 - (1) 地域就職者奨学金返還支援制度の概要と目的は
 - (2) 企業支援でなく本市で働く若者の支援を目的とすべきでは
 - (3) 今後の取組方向は

- 2 合特法事業のあり方について
 - (1) 事業の推移をどう見るか
 - (2) 「グランドルール」による合理化計画は不適切では
 - (3) 見直しの方向性は

- 3 公民センター等の避難所としての位置付けについて

- 4 S S 過疎地対策の取組を

一 般 質 問

議席4番 岩 出 和 也

- 1 せき p a y ・せきチケの活用について
 - (1) 暮らしにエール商品券の周知は
 - (2) 昨年度の商品券事業の分析状況は
 - (3) 効果を測定するためのアンケートの実施は

- 2 本市の子育て支援について
 - (1) 市内保育園の施設整備状況は
 - (2) 認定こども園の整備方針は
 - (3) 産前産後のファミリー向けのサポート体制は

一 般 質 問

議席12番 土屋雅義

1 関市定員適正化計画について

- (1) ここ数年の中途退職者の現状は
- (2) 計画に基づいた職員数を確保できていないが、行政サービスに影響はないのか
- (3) 計画が達成できていない要因は
- (4) 計画を達成するための今後の対策は
- (5) 計画の抜本的な見直しは考えているか

2 地区公民センターの地元移管について

- (1) 当初の設置目的は
- (2) 現状は
- (3) 地元へ譲渡する方針に至った経緯は
- (4) 市が行ったアンケート調査の結果は
- (5) 今後の移管の予定は

3 市長等特別職及び議員によるハラスメント防止条例の制定について

- (1) 条例制定の必要性の認識は
- (2) 議員提案での条例制定の協議は

一 般 質 問

議席16番 市川隆也

1 熱中症予防対策について

(1) 小中学校での取組は

- ア 新たな取組は
- イ 暑さ指数計測器の配備と活用は
- ウ ウォータークーラーの活用状況と拡充は

(2) 高齢者への取組は

- ア 新たな取組は
- イ 市内の公共施設や商業施設活用の推進は
- ウ 地域の公民センターやふれあいセンターの有効活用は

2 学校のトイレ環境について

- (1) トイレを我慢して体調不良を起こす児童は
- (2) 国のガイドラインや見解は
- (3) 今後の対策は

3 地区公民センター・集会場の今後のあり方に係る意向調査の実施について

- (1) 市の方針内容と自治会への説明会の開催は
- (2) 意向調査の進捗状況は
- (3) 今後の課題は

一 般 質 問

議席20番 小 森 敬 直

1 地方自治法改正について

- (1) 今回の改正について市長の見解を求める
- (2) 国に対して声をあげるべきでは

2 地区公民センターについて

- (1) 地区公民センター廃止の目的は
- (2) 財政的な負担はどれだけ削減されるのか
- (3) 地区公民センターの地元移管の状況は
- (4) 地区公民センターは無くなってもよい施設なのか

一 般 質 問

議席3番 村井芙美加

- 1 奨学金の返還支援について
 - (1) 地域就職者奨学金返還支援制度について
 - ア 対象となる企業や奨学金における条件の見直しは
 - イ 制度の広報周知の方法は
 - (2) 代理返還をする企業への支援は
 - (3) 給付型の奨学金制度を設ける方針は

- 2 不登校支援について
 - (1) L教室の今後の展望は
 - (2) オンライン授業やライブ配信の整備は
 - (3) 民間のフリースクールや支援団体との連携は
 - (4) 学校選択制の早期実施の方針は

- 3 災害時の避難所運営について
 - (1) 障がいのある方や介護を必要とする方に対応できる福祉避難所の整備は
 - (2) 女性に配慮した避難所運営は
 - (3) 子育て世帯に配慮した避難所運営は
 - (4) ペット同行避難における対策は
 - (5) 車中泊避難を想定した対策は

一 般 質 問

議席5番 北村隆幸

1 留守家庭児童教室について

(1) 現状と課題について

ア 課題は何か

イ 場所としての課題を抱える安桜小学校の教室の新設、増築もしくはプレハブでの緊急対応が必要であるがいかがか

ウ 指導員不足に対するこれまでの対策は

エ 現状、運営にかかっている費用とその内訳は

(2) 民間委託について

ア 概要と委託規模の考えは

イ 直営と比較して民間委託の優位性は何か、何に期待して民間委託を行うのか

ウ 県下他市の状況は

エ 民間(特に企業へ)委託した場合の懸念とその対策は

(3) 今後の手法について

ア 民間委託する場合の成果指標は

イ 直営で実施する教室において、全体統括するマネジメント機能の設置・強化をするべきだがいかがか

2 中心市街地の活性化について

(1) 中心市街地活性化に向けて、今年度の新たな事業は

(2) 本町B A S Eの条例制定が延期された理由は

(3) 1歩目のチャレンジと出店との間をつなぐ、2歩目3歩目の中間の支援事業が必要だと考えるが、中期のチャレンジショップの設置を検討しては

(4) まちづくり会社の必要性はこれまでの議会答弁でも認められているが、現状の事業からどう繋げていくのか

(5) 本町1丁目から3丁目が防火地域であり、建築のハードルが上がっている。準防火地域である4丁目以降と比較しても、現状は道幅も広くなり、家の間も密集していないが、防火地域を準防火地域にすることはできないか

(6) 中心市街地のミニ区画整理の考えは

一 般 質 問

議席1番 川 合 治 義

- 1 関市学校規模適正化計画（案）のうち、富野小・中学校を旭ヶ丘中学校区へ再編することについて
 - (1) パブリックコメントの意見等の公表の予定は
 - (2) パブリックコメントのうち富野中学校区関係分の意見の件数は
 - (3) 富野小・中学校を旭ヶ丘小・中学校に再編するこの計画（案）について賛否の状況は
 - (4) 旭ヶ丘中学校区内にお住まいの方の、富野中学校区との再編に関するパブリックコメントの意見の件数と賛否の状況は
 - (5) 関市公共施設等総合管理計画に「小学校等を地域コミュニティの核として位置付け」とあるが、再編されればなくなる富野小学校についての考え方は
 - (6) 津保川中学校区について『令和3年度に武儀西小と武儀東小は再編しているため、できれば令和9年度以降の再編』とする理由は何か
 - (7) 学校再編に伴う不安を払しょくするための対策は
 - (8) 富野地域委員会の移住者誘致促進の方針を尊重して、本計画（案）を見直しては

- 2 過疎地域におけるエネルギー供給体制について
 - (1) 市として過疎地域の石油燃料の供給に積極的に関与すべきでは
 - (2) 郡上市の自治体新電力会社設立についてどう考えるか
 - (3) 板取川清流発電所の運営形態は
 - (4) 市役所西側駐車場設置のEV充電器の運営形態は
 - (5) 長野県売木村のコンテナ型給油所の経験に学ぶべきでは

- 3 旧神野グラウンドについて
 - (1) 旧神野グラウンドの経緯と不動産としての価値は
 - (2) 再整地して価値を高めたうえで処分しては

一 般 質 問

議席 18 番 渡 辺 英 人

1 市内主要道路の整備について

- (1) 東山西田原線の土砂災害警戒区域に指定されている箇所の改善策は
- (2) 平賀第二土地区画整理事業南側の国道 4 1 8 号狭小区間の拡幅予定は
- (3) 計画幅員を縮小する方針の東山西田原線を国道 2 4 8 号バイパスまで延長する整備計画は
- (4) 市道のガス管理設に伴う道路工事について
 - ア 企業対象の都市ガス供給予定が、家庭へも供給予定になった経緯は
 - イ 日中の度重なる工事による渋滞等の苦情は届いていないか
 - ウ 市道埋設ガス管の道路占用料は
 - エ 今後の工事計画は

2 観光振興施策について

- (1) 「清流の国ぎふ」総文 2 0 2 4 ・文化祭 2 0 2 4 の来訪者に対する観光プロモーションは
- (2) 今後一層増加が見込まれるインバウンド市場への対策は
- (3) 体験型コンテンツ VR（仮想現実）・AR（拡張現実）等を活用した観光施策の取組は
- (4) 関鍛冶伝承館の改修計画の方針とスケジュールは
- (5) 官民連携の飲食機能強化策として予定されていた濃州関所茶屋改修計画は
- (6) 関の包丁やキッチンツール等が試せる体験型キッチンスタジオを計画しては

3 篠田桃紅美術空間の閉館について

- (1) 臨時休館中に行われた空調設備改修工事の概要は
- (2) 今後の利活用の方針とスケジュールは
- (3) 博物館浴の効果についての認識は
- (4) 関市ゆかりのアーティストの作品展や、市で保管している文化財を展示・公開しては

一 般 質 問

議席9番 林 裕之

- 1 防災行政無線戸別受信機設置費補助金について
 - (1) 補助金が整備されて以後の年度毎の実績は
 - (2) 具体的にどのような方が申請されているのか
 - (3) 福祉施設や高齢者施設などの要支援者がいる施設への補助金を創設しては

- 2 森林環境譲与税と企業などが関わる森林整備について
 - (1) 今年度から森林環境税が課税されるが、清流の国ぎふ森林・環境税との違いは
 - (2) 森林環境譲与税の用途と今後の展望は
 - (3) 「きのこの山・たけのこの里の森～明治グループ自然保全区～」の看板が寺尾ヶ原千本桜公園に設置されたが今後どのような事業を予定しているのか
 - (4) 他の企業や森林の少ない市町との事業はあるのか

- 3 部活動の地域移行の進捗状況は
 - (1) 地域クラブ登録団体の状況は
 - (2) スポーツ団体との連携や協力体制は
 - (3) 子ども達の安心安全なスポーツ環境の整備は
 - (4) 子どものスポーツ離れに対する施策は
 - (5) 文化系部活動の対応状況は

- 4 学校における熱中症対策と安全対策について
 - (1) 教室の空調整備の状況は
 - (2) ウォータークーラーの設置状況は
 - (3) 体育館の空調整備の状況は
 - (4) 登下校時の熱中症対策は
 - (5) 通学路指定の状況と安全確保策は